

 評価のポイント

CL-2.看護実践能力：協働する力

[53-2] 多職種チームカンファレンスへの提案と活用

多職種チーム連携やチームアプローチがうまくいっている、うまくいっていない理由について、どんなものがある
そうか、それぞれ話し合ってください。

●上手くいっている

- ・以下の「うまくいっていない要因」を改善するために、対話できるための場の設定が重要である。
朝会（ミーティング）、グループ会議、カンファレンス、学習会など。

●上手くいっていない

- ・相互の方針のずれ：相手部門と方針や関心がずれていること。
- ・相手部門の能力・人手不足：期待する能力が相手部門になかったり、あったとしても忙しくて余裕がないこと。
- ・自己の連携構築力不足：自分自身のことで、連携をマネジメントする能力が足りないこと。
- ・部門重視の制度：評価制度など各種制度が部分最適を助長するものになっていること。
- ・心理的なわだかまり：感情面のこと。
- ・ニーズの捉え方のずれ、優先順位のずれ、支援の価値観のずれ、そこに時間をかける必要性の認識など。
- ・忙しくて時間が取れない、手が回らない、言っていることや、やっていることがよくわからないなど。
- ・コミュニケーション不足、相手の土俵の理解不足、準備不足、ネットワークを組む価値不足。（知識・技術・理解促進不足）
- ・制度などにより報酬などに反映されない。やっても評価されない。
- ・苦手意識、怒られたり、断られた経験がある。